
2004年度
環境レポート

2005年3月15日

環境方針

- 1 . 事業活動の全ての領域で、省エネルギーの推進、排出物の減量化、資源の有効利用などを行い、環境保全に貢献します
- 2 . 環境保全の理解を深めるため、社内外の関係者に環境管理活動を推進します
- 3 . 省エネルギーなど、環境負荷の小さい製品の技術開発に努めます
- 4 . 国や地域において定められた法律や規則を遵守すると共に、一層の継続的改善と維持管理に努めます

平成15年5月26日

株式会社 フォーミット

代表取締役 中林 康二

1 . 事業活動の概略

- ・ 事業所名

株式会社 フォーミット

- ・ 所在地

大阪府豊中市原田元町 2 - 2 1 - 4

- ・ 環境保全関係の責任者及び担当者

責任者	代表取締役	中林 康二
担当者	プランニンググループ	谷 昌憲

- ・ 連絡先

T E L (06) 6845-4310

F A X (06) 6842-3510

- ・ 事業内容

各種自動省力機及び、一般産業機器の設計・製造・販売
各種制御システム設計

- ・ 事業規模

売上高	3 9 5	百万円
社員数	1 4	人
事務所延床面積	2 2 8	m ²
工場延床面積	7 7	m ²
総延床面積	3 0 5	m ²

2 . 環境目標とその実績

環境目標

二酸化炭素排出量の低減

2 0 0 4 年度末までに 2 0 0 1 年度の排出量より 1 5 % 削減します。

廃棄物の低減

売上高当たりの排出量を昨年度の 3 1 7 k g / 億円を 1 0 % 低減します。

リサイクルの推進

廃棄物のリサイクル率 7 0 . 0 % 以上を目標とします。

グリーン購入の推進

2004年度末までに事務用品購入費の75%以上をエコマーク商品等、環境負荷を考慮した物を購入していきます。

水資源の節約

年度ごとの排水量の確認を行い、節水を行います。

環境実績

集計期間：1月～12月

項目	単位	2001年	2002年	2003年	2004年
電力使用量	MJ/年	356,354	322,768	316,870	309,841
ガソリン使用量	L/年	4,890	1,857	2,965	3,755
二酸化炭素排出量	Kg-co ₂ /年	25,057	16,723	19,070	20,624
排水量	m ³	145	143	208	170
廃棄物量	Kg/年	-	-	973	1,519
(内、コピー用紙廃棄量)	Kg/年	-	-	85	204
売上高当たりの廃棄物量	Kg/億円	-	-	317	385
コピー用紙購入量	Kg/年	-	448	390	219
リサイクル率	%	-	-	66.6	65.7
グリーン購入率	%	-	70.0	67.8	76.2

3. 主要な環境活動計画の内容

二酸化炭素排出量の低減

- ・ 昼休みの消灯を徹底して行います
- ・ 事務所内の照明を効率の高い蛍光灯に順次交換していきます
- ・ 休日出勤時なども含め空調を必要最小限に留めます
- ・ 低燃費車の購入検討をします
- ・ 長距離となる出張では電車等による移動を呼びかけます

廃棄物の低減

- ・ 裏紙使用による両面コピーを徹底して行います
- ・ メールによる発注業務や資料保存形式の見直しによるペーパーレス化を促進していきます
- ・ 各自のカップ等を用意するなど、使い捨て容器の使用を減らします
- ・ 仕入れ先に納品物梱包材の回収を依頼していきます

リサイクルの推進

- ・ 回収業者に再度回収品目の確認を行い、新たにリサイクルできる品目を増やします
- ・ 製品の出荷梱包ではクッション材やダンボールなどの再使用や、簡易包装を心がけていきます

グリーン購入の推進

- ・ プリンター用紙は、古紙を配合した再生紙に切り替えます
- ・ O A 機器やサプライ品購入の際は、エコマーク商品や分解廃棄できるもの並びに繰り返し使用できるものなどの環境負荷低減商品を購入していきます
- ・ 常に最新のカatalogを参考に購入品を選びます

水資源の節約

- ・ トイレの貯水タンクに節水用としてペットボトルなどを詰めます
- ・ 他の事業所も含まれる当ビルでの使用水量しかわからない為、各事業所単位でのメーターの取り付けを依頼します

4 . 環境保全活動の取組結果の評価

取組結果

二酸化炭素排出量の低減

ガソリン使用量は昨年度の2003年度より多くなっているが、売上高との比率では下回っており、また基準とする2001年度より「電力使用量」「ガソリン使用量」共に下がっており、活動の成果がありました。そして目標の15%削減を上回ることが出来ました。

廃棄物の低減

年2回の大掃除以外に低減対策として行った「資料保存形式の見直しによるペーパーレス化」で今まで保存していた図面等の整理やカタログの処分などの片付けによって出た廃棄物が全体の約20%の増加となり、目標の達成には至りませんでした。また社員の増員も要因の一つと考えられます。

リサイクルの推進

新たにリサイクルできるように集計品目を増やしましたが、目標の70%に届かず、また昨年度を下回る結果となりました。

グリーン購入の推進

事務用品購入の際、都度グリーン購入比率が確認できるようになっている為、細かな見直しが行え目標達成に繋がりました。

水資源の節約

ペットボトルによる節水対策は行えたが、水量メーターの取り付けには至りませんでした。

全体評価

今年度の目標未達事項は目標に対しての実績チェックが細やかに行えていなかった事、また具体的取り組みに対して効果の確認が行えていなかった事が反省すべき点である。

その為、次年度は月々での目標値を設定して、それに対しての実績の確認及び具体的取り組みの修正を月単位で行い都度社員に連絡することで周知を促し、改善へとつなげたい。

5. 環境関連法規への違反、訴訟等の有無

(ア) 主な環境関連法規と該当する事業内容

関連する法律等名称	該当する事業内容
環境基本法	・ 出図作業 ・ 組み立て作業 ・ EA21 などの取組
循環型社会形成促進基本法	・ 廃棄物分別処理 ・ リサイクル運動
環境影響評価法	・ EA21 (パイロット事業)
地球温暖化対策の推進に関する法律	・ 電力消費 ・ 社有車の走行 ・ 植樹等の取組参加
特定物質の規制等によるオゾン層の保護に関する法律	
特定製品に係るフロン類の回収及び破壊の実施の確保等に関する法律	・ 社有車の廃車処分 ・ エアコンの入れ替え
大気汚染防止法	・ 社有車の走行
自動車から排出される窒素酸化物の特定地域における総量の削減等に関する特別措置法	・ 社有車の走行
水質汚濁防止法	・ 排水
湖沼水質保全特別措置法	

関連する法律等名称	該当する事業内容
悪臭防止法	・ 日常業務
騒音規制法	・ 日常業務
廃棄物処理法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 廃棄物回収 ・ リサイクル運動 ・ 設計
資源の有効な利用の促進に関する法律	<ul style="list-style-type: none"> ・ コピー用紙、裏紙使用の促進 ・ リサイクル運動
特定家庭用機器再商品化法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特定家庭用機器廃棄物の発生 (テレビ, 冷蔵庫, エアコン等)
容器包装に係る分別収集及び再商品化の促進等に関する法律	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出荷梱包 ・ 通い箱 (函面ファイル等)
エネルギーの使用の合理化に関する法律	<ul style="list-style-type: none"> ・ 設計業務全般 ・ 輸送 ・ 郵送物
新エネルギー利用等の促進に関する特別措置法	<ul style="list-style-type: none"> ・ 電力消費
環境物品調達促進法	<ul style="list-style-type: none"> ・ グリーン購入
環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する法律	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育環境の構築

(イ) 違反、訴訟の有無

環境取組自己チェックを行い違反等、無き事を確認、また上記環境関連法規及び、その他苦情等について関係機関等からの指摘事項はありませんでした。

以上